



冬に多い 猫の膀胱炎

血尿 頻尿 排尿困難 震え 嘔吐 死に至る



猫ちゃんはもともと水を飲む量が少ないため、泌尿器や腎臓の病気が多い動物です。特に冬は、水を飲む量が少なくなるため、尿路閉塞を起こし尿毒症で死亡したり、腎不全などが重症化するケースもあります。

症状に応じて、投薬や食事の改善を行うことが大切です。まずは尿検査を受けることをお勧めしています。尿検査によって、膀胱炎・結石・腎不全などを早期に発見し、治療につなげることができます。またさらに膀胱のエコー検査をすることで検査の精度を高めることができます。ぜひご利用ください。

★尿検査用 スポイト 同封してあります

●1、採尿が得意な方！

尿検査をしますので尿をご持参ください。



尿石症・腎不全・糖尿病がわかります。同時に、膀胱のエコー検査をされる事をおススメします。

●2、採尿は苦手だなという方

まずは、膀胱のエコー検査から！



膀胱結石、膀胱腫瘍がわかります。後日、尿検査をされる事をおススメします。

8歳以上 <総合健診に含まれるシニア>にお勧めの検査項目とは>

●甲状腺ホルモン・・・甲状腺機能亢進症のときに高くなります。

特に高齢の猫ちゃんに多い病気で甲状腺ホルモンが過剰に放出される病気です。放置すると心臓や腎臓へのダメージにつながり、命にも関わります。・・・内服薬で治療可能です。

●炎症反応・・・SAA 体の中の炎症・感染症・免疫疾患・腫瘍などの指標になります。

●糖化アルブミン（糖尿病の診断）・・・ここ3週間の血糖値の変動がわかります。

その日1回の血糖値の検査よりも、さらに詳しい糖尿病の指標になります。

若い子でも怖い！？心臓の病気 心筋症



特に気を付けたい猫ちゃん

日本猫、メイン・クーン、アメリカン・ショートヘア、ラグドール

猫ちゃん的心筋症は、人よりも多く、注意が必要な病気です(人は 500 人に1人に対して、猫ちゃんは、500頭で75頭)。そして、心筋症の難しいところは、末期にならないと、息切れなどの症状が出ない事です。

当院でも長年たくさんの猫ちゃんを診てきて、「普段元気そうだから大丈夫」と思ったら、実は初期の心筋症だったというケースが多くあります。この機会に一度受診ください。

タブチ動物病院

川越市岸町1-14-28
049-244-8427

↓ 休診日など病院の最新情報はこちらから

タブチ動物病院 検索

